

【“アート”の力で認知症ケア & 子どもの感性教育】

有資格者 97名を社内で養成、事業所の特色に

スタートケアサービス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：山崎千里）では、臨床美術を取り入れている事業所の社員18名を対象にアートサポーター養成講座(後述)を実施。合計97名の社員(8/1現在)が臨床美術士またはアートサポーターとなりました。

■臨床美術士とは

臨床美術とは、株式会社芸術造形研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大久保伸一）が開発した芸術療法で、絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることによって脳を活性化させ、高齢者の介護予防や、認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できます。

■臨床美術士とアートサポーターの育成

「アートサポーター」とは、臨床美術における素晴らしさをより多くの人に伝えていくために、当社と(株)芸術造形研究所が共同開発した資格です。養成講座を修了することで取得ができ、その内容は、臨床美術の入門的なエッセンスが詰まっています。当社においては臨床美術士・アートサポーターが連携を図れるように、臨床美術士を中心とした研修を定期開催しています。

■全保育園を含む45事業所に配置

現在では高齢者・保育事業所合わせて45箇所に有資格者が配置されています。各事業所の特色として、臨床美術のエッセンスを取り入れた、レクリエーションやコミュニケーションなどが、日常的に行われていくことを目指します。

※「臨床美術」および「臨床美術士」は日本における(株)芸術造形研究所の登録商標です。



今回アートサポーターの資格を取得した保育士の職員。証書と作品を持ち記念撮影。



養成講座の様子。臨床美術における考え方を学び、作品制作、鑑賞会を体験します。



社内でのアートプログラム研修の様子



各事業所でのレクリエーションの様子

<本件に関するお問い合わせ先>

スタートケアサービス株式会社 広報：渡辺

E-mail：s-careservice@starts.co.jp

TEL：03-6880-3253（直） FAX：03-6880-3261